

Ⅱ 地域づくりを支える道路空間再編の進め方

- 実務者の手引書として活用しやすいように、以下の3つの観点から、地域づくりを支える道路空間再編の進め方について整理した。
 - ① 道路空間再編の一連の流れを把握するための「基本的な手順」を事業の段階に応じて示すとともに、各段階において留意すべき点を「ポイント」として整理
 - ② 実務者(特に、行政担当者)が道路空間再編プロジェクトを進める際に直面する課題に対して、①を逆引きできるように、対応する「ポイント」を整理
 - ③ 地域づくりを支える道路空間再編の代表的なシナリオを5つ例示し、関係者の役割分担を示すとともに、各シナリオに対して参考となるベストプラクティスを整理



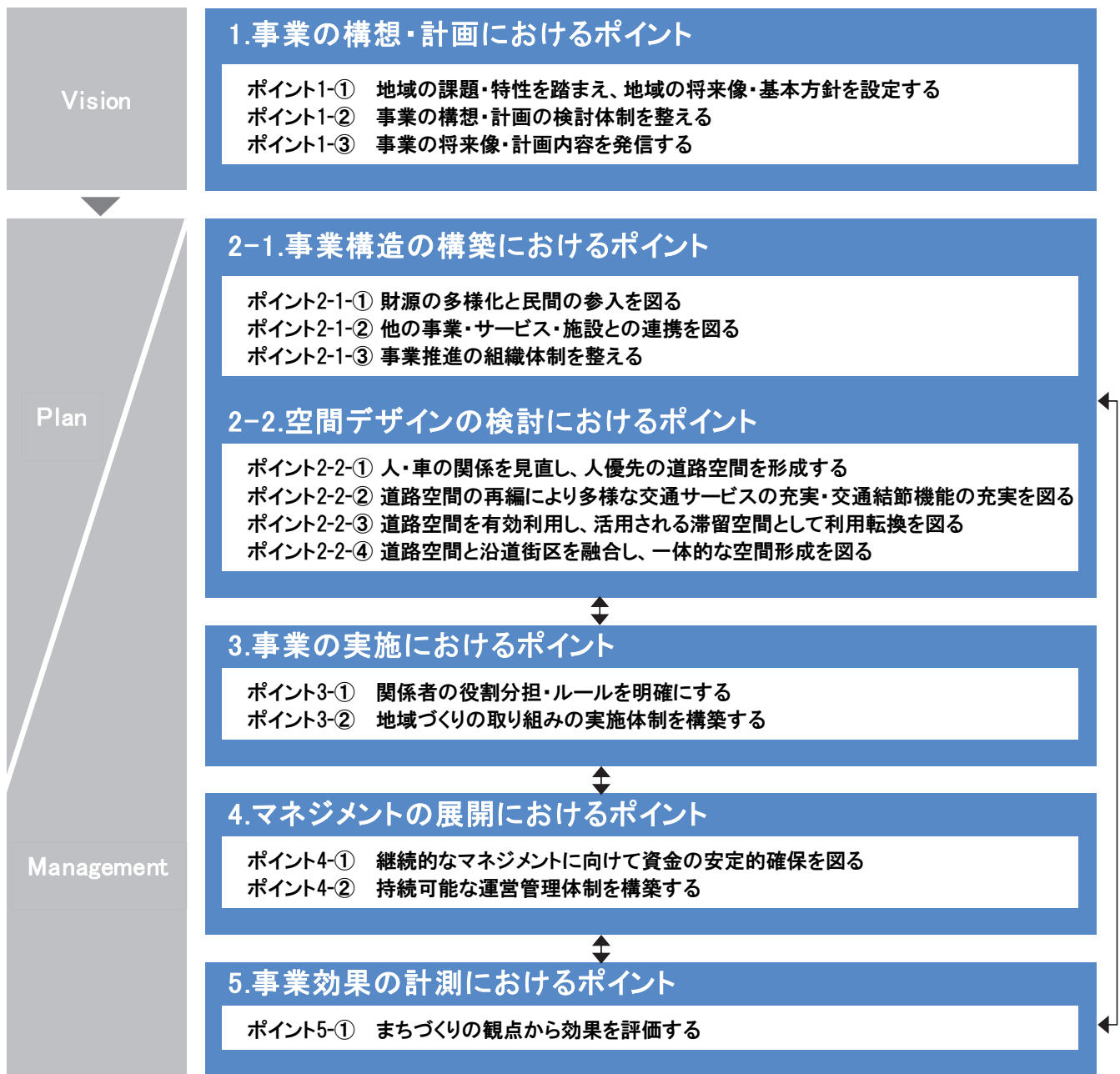
ハレの日には、道路も表現の場に変化する
(メキシコ・メキシコシティ)



みちの中にある公園は、憩いや交流の場となる
(スペイン・バルセロナ)

1. 基本的な手順

- 地域づくりを支える道路空間再編を実践するにあたり、事業の段階に応じた様々なポイントに配慮しながら、事業を進めていくことが重要である。
- 本手引きでは、事業全体を「事業の構想・計画」、「事業構造の構築」、「空間デザインの検討」、「事業の実施」、「マネジメントの展開」、「事業効果の計測」の6つの段階に区分し、道路空間再編を進める上での要点や留意すべき点を15のポイントとして整理した。
- このポイントを Vision、Plan、Management で区分した場合、持続的な運営管理等の観点から、Vision、Plan の段階から空間デザインだけでなく、プロセスやプログラムのデザインといった Management の検討を総合的に行う必要がある。また、Management における事業効果の計測・評価を通じて、事業構造や空間デザインの検討へフィードバックする、いわゆる PDCA サイクルを通じて事業の改善に取り組むことが重要である。



地域づくりを支える道路空間再編の基本的な手順と15の「ポイント」

2. 実務者が直面する課題に対するポイント

- 実務者(行政担当者等)は、道路空間再編の要請があるがどうしたらよいのか、あるいは地域づくりの課題を解決するための手段として道路空間再編をどのように進めたらよいのか等、様々な課題に直面する。
- そこで、実務者が直面する主要な課題を整理するとともに、その課題に対する対応方策について、1. で示した「ポイント」との関係を整理した。

課題 1：国内、海外の道路空間再編とはどのようなものか？

国内の事例から学ぶ（国内ベストプラクティス集を参照）

海外の事例から学ぶ（海外ベストプラクティス集を参照）

課題 2：どのような検討が必要で、どのような成果が必要か？

地域の課題・特性を踏まえ、地域の将来像・基本方針を設定する（ポイント 1-①を参照）

課題 3：計画をどうオーソライズするのか？

地域の課題・特性を踏まえ、地域の将来像・基本方針を設定する（ポイント 1-①を参照）

事業の将来像・計画内容を発信する（ポイント 1-③を参照）

課題 4：庁内体制をどう構築するのか？

事業の構想・計画の検討体制を整える（ポイント 1-②を参照）

他の事業・サービス・施設との連携を図る（ポイント 2-1-②を参照）

事業推進の組織体制を整える（ポイント 2-1-③を参照）

関係者の役割分担・ルールを明確にする（ポイント 3-①を参照）

持続可能な運営管理体制を構築する（ポイント 4-②を参照）

課題 5：関係機関との調整をどう進めるのか？

事業の構想・計画の検討体制を整える（ポイント 1-②を参照）

事業推進の組織体制を整える（ポイント 2-1-③を参照）

地域づくりの取り組みの実施体制を構築する（ポイント 3-②を参照）

課題 6：地元の合意形成をどう進めるのか？

事業の構想・計画の検討体制を整える（ポイント 1-②を参照）

事業の将来像・計画内容を発信する（ポイント 1-③を参照）

事業推進の組織体制を整える（ポイント 2-1-③を参照）

関係者の役割分担・ルールを明確にする（ポイント 3-①を参照）

課題 7：公的資金の不足をどう解消するのか？

財源の多様化と民間の参入を図る（ポイント 2-1-①を参照）

他の事業・サービス・施設との連携を図る（ポイント 2-1-②を参照）

継続的なマネジメントに向けて資金の安定的確保を図る（ポイント 4-①を参照）

課題 8：空間デザインの検討をどう進めるのか？

事業推進の組織体制を整える（ポイント 2-1-③を参照）

人・車の関係を見直し、人優先の道路空間を形成する（ポイント 2-2-①を参照）

道路空間の再編により多様な交通サービスの充実・交通結節機能の充実を図る
（ポイント 2-2-②を参照）

道路空間を有効利用し、活用される滞留空間として利用転換を図る（ポイント 2-2-③を参照）

道路空間と沿道街区を融合し、一体的な空間形成を図る（ポイント 2-2-④を参照）

課題 9：事業実施後の維持管理・運営をどう継続するのか？

継続的なマネジメントに向けて資金の安定的確保を図る（ポイント 4-①を参照）

持続可能な運営管理体制を構築する（ポイント 4-②を参照）

課題 10：事業効果をどう計測するのか？

まちづくりの観点から効果を評価する（ポイント 5-①を参照）

3. 地域づくりを支える道路空間再編のシナリオと関係者の役割分担

(1) 地域づくりを支える道路空間再編のシナリオ

- 地域づくりを支える道路空間再編のシナリオとして、主に以下の5つのシナリオが挙げられる。
- 一般的に関係者が多くなるにつれて調整に時間を要し、実現の難易度が高くなることが多い。利害関係者が多く合意形成がポイントとなる場合、適切なマネジメント体制を初期段階から構築することがポイントとなる場合、関係者の発意があれば比較的取り組みやすい場合等、地域の状況や取り組み内容によって調整のポイントが異なるため、適切な関係者の役割分担を構築することが重要である。

シナリオ A まちなかにおける歩行空間の復権

中心市街地や観光地において、魅力ある歩行空間の整備により、人々の交流を活性化し、新たな価値や活動を創出する。また、子供から高齢者まで全ての道路利用者にとって安全な道路空間を創出することで、観光、ビジネス、商業等、様々な目的も下に訪れた人々が、安心して快適に歩けるまちを実現する。



まちなかの快適な歩行者空間
(メキシコ・メキシコシティ)

シナリオ B 路面公共交通、自転車利用環境の充実

交通弱者のモビリティ確保、コンパクトな市街地構造の実現、人と環境にやさしい交通体系の形成などを目指す地域において、路面公共交通(バス、BRT、LRT 等)の導入や自転車利用環境の整備による交通環境の改善を図ることにより、自動車だけに頼らず、子供から高齢者までの全ての道路利用者が自由に安心して移動できるまちを実現する。



歩道・車道と分離された安全な自転車専用道路
(イギリス・ロンドン)

シナリオ C 地域資源を生かした新たな顔となる道路空間づくり

賑わい向上や地域活性化を目指す地域等において、中心市街地や観光地の拠点性を高めるとともに、歴史や文化、自然を活かした公共空間を創出することで、地域資源を活用・継承し、地域の魅力・価値を向上させる。また、鉄道駅やシンボルロードの整備を起爆剤としたまちの顔づくりにより、様々な交流を生み出すとともに、都市機能の集積を図り、豊かな生活環境を創出する。



海沿いのまちの顔となる歩行者空間
(イタリア・アマルフィ)

シナリオ D 水辺、公園整備等関連事業との連携

道路再編事業のみでは投資効果に見合う事業効果が得られない地域等において、道路の改築・更新と沿道公共施設の再生を連携させることにより、地域全体における空間デザインの統一感や連続性を確保し、都市空間の魅力を向上させる。



海岸と一体となった魅力的なプロムナード
(スペイン・バルセロナ)

シナリオ E 既存道路ストックの民間活用

継続的な道路空間の維持管理・運営が課題となっている地域において、短期間かつ低コストで交通環境を改善することで、既存の道路ストックを効果的に利用し、極力費用をかけずに道路空間の価値を高める。また、道路空間を稼ぐ場として活用することにより、経済活動の活性化を図る。



道路空間を活用したオープンカフェ
(メキシコ・メキシコシティ)

- 各シナリオが手引き掲載の「ベストプラクティス」のどの事例に該当するかを以下に整理した。

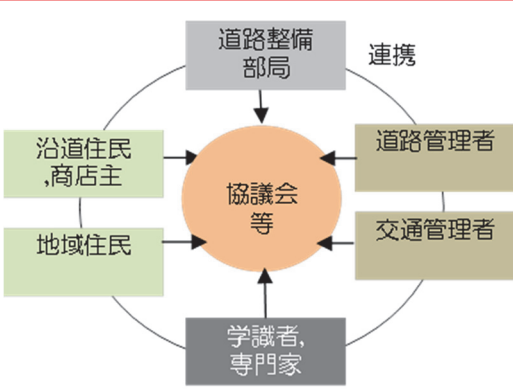
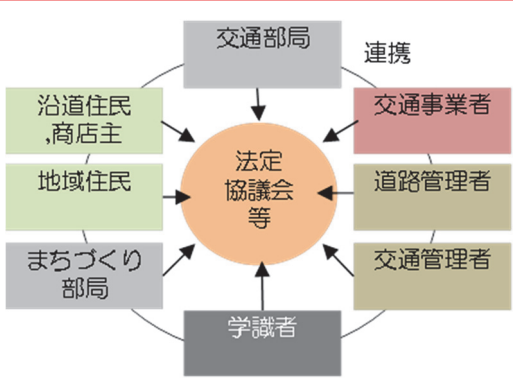
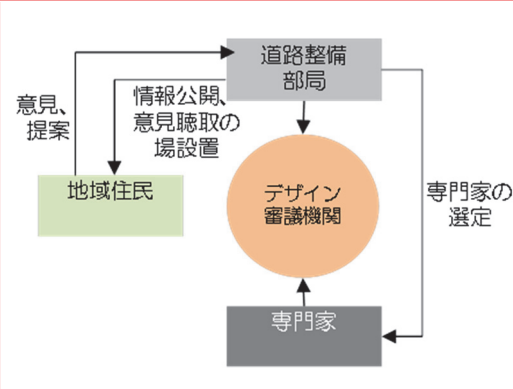
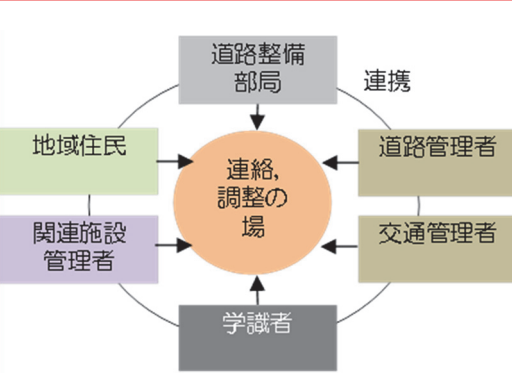
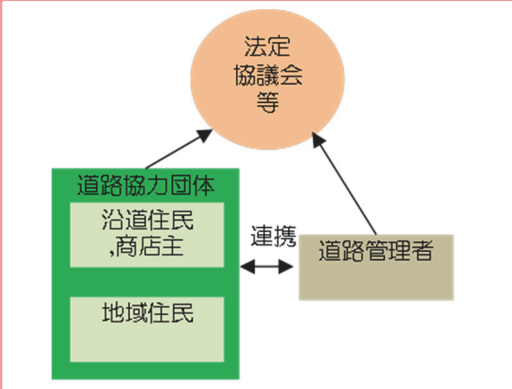
表 ベストプラクティスとシナリオの対応関係

ベストプラクティス			シナリオ分類				
			A	B	C	D	E
			まちなかにおける歩行空間の復権	路面公共交通、自転車利用環境の充実	地域資源を生かした新たな顔となる道路空間づくり	水辺・公園整備等、関連事業との連携	既存道路ストックの民間活用
国内	1	創成川通	○			○	
	2	札幌駅前通地下歩行空間	○				○
	3	レンガみち			○		○
	4	ふれあい通り			○		
	5	九品仏川緑道	○				
	6	日本大通り			○		○
	7	四条通り	○	○			
	8	グランフロント大阪地区中央東西通り他	○				○
	9	御堂筋		○	○		
	10	旧居留地明石町筋	○				
	11	大手前通り	○	○			
	12	矢道湖夕日スポット		○		○	
	13	神門通り	○		○		
	14	丸亀町商店街A街区			○		○
	15	道後温泉本館周辺広場	○		○		
	16	熊本駅城山線	○	○			
	17	鉄和温泉いでゆ坂等地区内街路	○				
海外	1	パークレット					○
	2	セーヌ川河岸道路	○		○		○
	3	ベルジュ埠頭			○	○	○
	4	エキシビジョン・ロード	○				
	5	ラファイエット通り		○			
	6	サイクル・スーパーハイウェイ		○			
	7	スーパーブロックプロジェクト	○				○
	8	レヒーナ回廊	○				○
	9	タイムズスクエア	○				○
	10	ベルストリート・パーク	○			○	

(2) 関係者の役割分担

- 地域づくりを支える道路空間再編における行政の役割は、持続可能な交通まちづくりの観点から、地域の将来像や基本方針を明確に示した上で、道路ネットワークの再構築、快適な自転車・歩行者ネットワーク形成や路面公共交通の整備等、まちなかの交通環境の向上に関する取り組みを実施することである。
- 加えて、このような取り組みを進めるにあたり、行政は、まちづくりの方向性を議論するためのきっかけづくり、議論のための場づくり、及びその検討体制の構築に取り組む必要がある。また、行政は民間側が主体的に運営管理に携われるように、機を捉えながら民間側の意欲を引き出すための支援を行う。その際、行政は取り組みの意義を、熱意を持って民間主体へ丁寧に伝えることが大切である。
- なお、実際の道路空間再編の取り組みは、複数のシナリオの組合せとなることが一般的であるため、組合せに応じた多角的な視点から関係者の役割・関係性を整理することが望ましい。

『地域づくりを支える道路空間再編』における関係者の役割分担見取り図

『地域づくりを支える道路空間再編』における関係者の役割分担見取り図						
シナリオ		まちなかにおける歩行空間の復権	路面公共交通、自転車利用環境の充実	地域資源を生かした新たな顔となる道路空間づくり	水辺・公園整備等関連事業との連携	既存道路ストックの民間活用
目 標		・ 中心市街地や観光地における魅力ある歩行空間の整備 ・ 全ての道路利用者（歩行者、自転車、公共交通、自動車等）の安全性の向上	・ 路面公共交通（バス、BRT、LRT 等）の導入や自転車利用環境の整備による交通環境の改善	・ 地域の歴史や観光資源を生かした公共空間の創出 ・ 鉄道駅やシンボル道路の整備を起爆剤としたまちの顔づくり	・ 道路の改築・更新と沿道公共施設の再生の連動による施策の効果向上	・ 短期間かつ低コストでの交通環境改善 ・ 道路空間活用による経済活動活性化
キーポイント		・ このシナリオでは、地域住民、商店主、交通管理者、道路管理部局の合意形成が最大のポイント	・ このシナリオでは、交通事業者の利害調整が最大のポイント ・ 地域住民、商店主、交通管理者、道路管理部局の合意形成の場が必要	・ このシナリオでは、景観デザインの専門家の力の導入が最大のポイント	・ このシナリオでは、異なる施設管理者の連携が最大のポイント	・ このシナリオは、小規模なものから大規模なものまでであるが、民間と交通管理者、道路管理部局の調整が最大のポイント
関係主体に期待される役割	道路・交通	【道路整備部局】 ・ 面的な交通処理計画の検討 ・ 道路交通の安全性（救急、消防、避難）と効果を確保する検討や社会実験の実施	【交通部局】 ・ 総合交通計画の検討 ・ 沿道アクセス、自転車交通に与える影響の検討 【交通部局、交通事業者】 ・ 事業効果と交通事業者の経営環境に対する影響の検証	【道路整備部局】 ・ 高質な道路空間をデザインできる専門家の選定 ・ まちの顔づくりに係る施策の情報公開	【道路整備部局】 ・ 道路の改築・更新による施策の効果を向上させる関連施設の有無の検討	【道路管理者、交通管理者】 ・ 道路占用の特例措置の適用
	まちづくり	【沿道住民、商店主】 ・ 建物のリノベーションへの投資	【交通部局】 ・ まちづくりと連携した路面公共交通導入路線の選定 【交通部局、まちづくり部局】 ・ 公共交通整備に係る投資を回収する仕組みの検討 【地域住民】 ・ 交通課題の共有と改善施策の検討の場への参加	【道路整備部局】 ・ 道路空間整備と沿道施設（水路、文化財、歴史的建築物、公共施設、市街地整備事業等）との調整 【地域住民】 ・ 各種行事に道路空間を活用する新しいライフスタイルの提案	【道路管理者、関連施設管理者】 ・ 施策の目標の共有 【地域住民】 ・ 伝統行事やイベントの舞台として公共空間を活用する新しいライフスタイルの提案 【関連施設管理者】 ・ 道路の改築・更新と連動した他施設の改善施策の検討	【沿道住民、商店主】 ・ 道路空間を活用したオープンカフェやイベント等の実施による豊かなまちなか文化の創造
事業関係者の関係性						
		【道路整備部局】 ・ 道路空間再編の検討体制の構築 ・ 道路空間再編の関連財源確保 ・ 利害関係者（住民、商業関係者、交通事業者、交通管理者、学識者、専門家、行政）の調整 ・ 事業の PDCA のための仕組み、体制の構築	【交通部局】 ・ 総合交通体系の検討体制の構築 ・ 総合交通体系整備の関連財源確保 ・ 利害関係者（地域住民、交通事業者、道路管理者、交通管理者、学識者、行政）の調整 ・ 事業の PDCA のための仕組み、体制の構築	【道路整備部局】 ・ 道路空間再編の検討体制の構築 ・ 高質空間整備の関連財源確保 ・ 必要に応じて、デザインの審議機関を設置 ・ 道路の利活用主体の声を聴取する場の創設、及び計画への反映	【道路整備部局】 ・ 道路空間再編の検討体制の構築 ・ 利害関係者（地域住民、交通管理者、学識者、道路管理部局、関連施設管理者）が一堂に会する検討体制の構築 【道路整備部局、関連施設管理者】 ・ 道路空間再編、個別の施設整備に係る財源確保	【道路整備部局】 ・ 道路空間再編の検討体制の構築 ・ 道路空間再編に係る財源の確保 【地域住民】 ・ 持続的なまちづくりのためのエリアマネジメントの体制、財源の構築

